



令和5年11月20日

ふるさと納税の新たな返礼品について

区では、一層の寄附獲得を目指し、文化芸術に絡めた新たな返礼品として、草ぶき屋根の民家を描き続けた画家、向井潤吉氏の版画作品の額装や世田谷美術館等の展覧会鑑賞チケットと併設するレストラン等の食事券のセットを追加します。美しいおはぎや台湾の老舗姉妹店の肉まん等、バラエティに富んだ魅力ある返礼品も続々と追加していきます。

1 区の寄附の状況（令和5年10月末時点）

法人等を含めた全体で約1億5,000万円となり、昨年度同時期比で約9,600万円の増となっている。特に、9月は制度改正前の駆け込みの影響もあり、1か月だけで6,000万円を超える寄附をいただいた。

また、社会貢献型として寄附を募ってきた「児童養護退所者等奨学・自立支援基金」等にも、昨年度の同時期よりも多くの寄附をいただいております。今後もこれらの社会貢献型の世田谷らしい取組みや新たな返礼品の追加などにより、一層の寄附獲得を目指していく。

2 新たな返礼品 その1 ～芸術の秋を楽しむ～

(1) 向井潤吉 版画作品「檜原村数馬大平（ひのはらむらかずまおおひら）」

現在も旅館として現存する東京都檜原村の古民家を描いた作品の版画を新たな返礼品とする。本作品は、すでに原板がなく、区が所有する31点の版画のみが残る貴重な逸品（寄附金額：100万円）。

(2) 世田谷美術館等の鑑賞券と併設するレストラン等の食事券セット

文化芸術のまち、世田谷を代表する区立世田谷美術館と世田谷文学館の展覧会鑑賞チケット（6回分）と、美術館に併設するレストランやカフェで利用できる食事券（1万円分）のセットを新たに返礼品として追加する（寄附金額：6万5千円）。

3 新たな返礼品 その2 ～世田谷のまちと産業の魅力発信プロジェクト～

これまでのスイーツや宿泊券、食事券など約100点の返礼品に加え、おはぎの概念を覆す美しいアートワークで大評判のオーダーメイドおはぎや、台湾で行列が絶えない老舗の国内唯一の姉妹店の肉まん、パンの激戦区世田谷の人気パンセットなどバラエティに富んだ返礼品50点がこの秋新たに仲間入りする。

◎問合せ 文化・国際課

電話03-6304-3427

商業課

電話03-3411-6652

経営改革・官民連携担当課

電話03-5432-2190